

## ネコ沼司書の部屋

我が家には8匹の猫がいる。1匹はどこからともなく庭に来て、残り7匹は時期が違うが、河川敷の畑に居たのを餌で釣って保護した。その内の1匹はどうしても来たかったのか寒かったのか、自分から車の座席に乗ってやって来た。みな野良上がりで雑種だけれど、猫の可愛らしいしぐさや気まぐれな行動には虜にならずにはられない。

そこで我が家の猫がまさに主人公のようだと思っている本を紹介したい。子どもの頃はご近所から猫を買った。猫が来るまでの待ち遠しい様子が描かれた①（下記タイトル参照）。多頭飼いで悩ましいのは、相性が合わないこともある。そんな先輩猫の気持ちがわかる②。1ヶ月間帰らなかったのは、おそらくこんな行動していた？と思わせる③。某テレビ「オーウィンが来た」が始まると画面にかぶりついて、映像の動物や昆虫に反応する。猫の見える世界を説明している④。ガラス玉のように透き通る目や毛の1本1本まで丁寧な絵の心温まるお話⑤。時計は読めずともご飯の催促は毎度同じ時間、雨が降る前に必ず部屋に入るなど猫はかっこいいと思う。ただ年を取り寝ていることの多くなった猫には実はこんな理由があったら面白い⑥。

好きな本を選んで…と思ったら、『図書館司書30人が選んだ猫の本棚—出会いから別れまでの299冊—』（高野一枝／編著 郵研社）という本もありました。こちらも参考にどうぞ。子どもから大人まで楽しめる絵本を中心に選んだのでご家族でお楽しみいただけたら嬉しい。

(M)

### おすすめ本

- ①『あしたうちにねこがくるの』石津ちひろ／文 ささめやゆき／絵 講談社
- ②『ねこのジンジャー』シャーロット・ヴォーク／作 小島希里／訳 偕成社
- ③『ノラネコの研究』伊沢雅子／文 平出衛／絵 福音館書店
- ④『動物の見える世界—仕掛絵本図鑑—』ギョーム・デュブラ／著 渡辺滋人／訳 創元社
- ⑤『まいごになったねこのタビー』C.ロジャー・メイダー／作・絵 齋藤絵里子／訳 徳間書店
- ⑥『おりこうねこ』ピーター・コリントン／作・絵 いすむらまり／訳 徳間書店

## 7月の行事

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休館					
7	8	9	10	11	12	13
新刊 お話し						
14	15	16	17	18	19	20
新刊 お話し		赤ちゃん お話し				
21	22	23	24	25	26	27
新刊 お話し					休館	
28	29	30	31			
新刊 お話し						

『としょかんタンテイ』  
7月27日(土曜日)  
～8月4日(日曜日)  
今年もお楽しみに！

- <日曜> 新刊本を出します。  
新刊コーナーにご注目！  
毎週11時から、幼児から  
小学生低学年向けのお話会が  
あります。
- <火曜> 第3火曜日11時から、  
赤ちゃん向けお話会  
があります。

### 編集後記

【突撃！ としまの図書館】も3館め。これまでご紹介した中央図書館と上池袋図書館は、いずれも巣鴨図書館から徒歩で行ける距離にあります。ぜひお散歩コースに加えてみてください。夏休みは、書を持って、町へ出よう！ ただし、熱中症にはくれぐれもご注意ください！ (A)

## すがもらいぶらり

2024年7月号(7月1日巣鴨図書館発行)

暑い日々が続いております。豊島区では、厳しい暑さを一時的にしのごための場所として、誰でも気軽に立ち寄って冷房の効いた空間で休憩できる区の施設を「としま涼みどころ」として開放しています。巣鴨図書館を含むすべての豊島区立図書館が「としま涼みどころ」となっておりますので、是非ご利用ください。

熱中症の予防の基本は「脱水予防」と「体温の上昇を抑えること」です。4月より図書館に設置したマイボトル用給水機も是非ご利用ください。(館長)



こちらのポスターやのぼりが「としま涼みどころ」の目印です。図書館の他にも区民ひろば等が「としま涼みどころ」です。

### じろうくんより…

地下1階YA（ヤングアダルト）の特集コーナーが今年度よりリニューアルされています。リニューアル第1回の特集は「科学好き？それとも苦手？」で『ニュートン超絵解本』を展示し、好評でした。6月29日からは『進路のヒント』の特集をしています。YA世代のみならず、大人の方も是非地下1階まで足を運んでみてくださいね。



# じぞうさんぽ 【突撃！ としまの図書館】

今年度の、「じぞうさんぽ」は、知っているようで知らない地元「豊島区の図書館」をめぐる。第3回目は、「上池袋図書館」です。

## ＜緑に囲まれた図書館＞

上池袋図書館は、平成5年7月20日に旧国鉄池袋電車区跡地に開館しました。吹き抜けとステンドグラス<sup>1)</sup>、窓から見える上池袋さくら公園の緑がとても印象的な図書館です。

入口入って正面には、CDコーナー<sup>2)</sup>があり、公園を眺められる窓辺に試聴コーナー<sup>3)</sup>もあります。最近では、配信で済ませてしまう方も増えているかとは思いますが、ここには懐かしい出会いがあるかもしれません。是非チェックしてみてください。

1階には児童コーナー<sup>4)</sup>もあります。半円形のおはなしのへや<sup>注)</sup>や汽車の形をした掲示板等、楽しく居心地の良い空間になっています。書架も低く子供目線で作られているのも魅力です。

そして、2階には国鉄の跡地であることから「鉄道コーナー」<sup>5)</sup>を設け、鉄道に関する資料を重点的に集めています。ここに置いている本の背に貼ってある汽車のシールにも鉄道愛が感じられました。私が訪問した6月某日には、ちょうど館内で、信州長野で鉄道写真を撮り続けているアマチュア写真家沼野啓太氏の写真<sup>6)</sup>が展示してありました。この新聞が発行される7月には、あいにく展示は終わってしまうのですが、しばし旅気分を味わうことができました！

これまでも、出版関係の方をお招きして講演会開催をしたり、現在も取り組んでいる月曜朝イチ映画会<sup>7)</sup>等、さまざまなイベントに取り組んでいる図書館ですので、ホームページのお知らせをチェックして是非足を運んでみてください。

と、上池袋図書館の魅力を語ってきましたが、既に館内ポスター<sup>8)</sup>でご存知の方もいらっしゃると思いますが、令和7年2月上旬から改築工事に入る予定です。新装オープンの令和8年4月(予定)には、どんな図書館になるのかとても楽しみです。より公園を近くに感じられる図書館になるのでは？と勝手な予想をしつつ、その日を待ちたいと思います。

そして、上池袋図書館を訪れたら、是非隣接している上池袋さくら公園にある「ふくろう」像<sup>9)</sup>を見てください。豊島区には区内にいくつか「ふくろう」像がありますが、こちらは、宮澤賢治が生まれた花巻市から寄贈していただいたものです。説明版には、  
農業指導にその身を捧げた賢治は、『農民芸術概論綱要』の中で「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と記しています。あらゆる生命の「ほんとうの幸」を求め続けた賢治の祈りを、花巻から飛び立つ「ふくろう」に話します。と書かれています。今の時代に読むと、心の奥に響くものを感じました。

(M)

注) 第1～第4土曜日11時15分からこの部屋でお話会をしています。

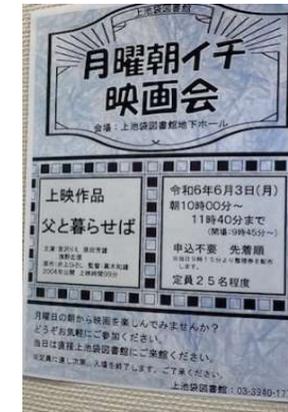
## 地図



6) 鉄道写真ミニ展示



8) 改修工事お知らせ



7) 朝イチ映画会



9) ふくろう像

## 上池袋図書館についてもっと知るなら

- 『国鉄・JR機関車大百科』 高橋政士 他/著  
天夢人 上池袋図書館所蔵
- 『東武東上線沿線アルバム 昭和～平成』  
辻良樹/解説 アルファベータブックス  
上池袋図書館所蔵
- 『ランプ小屋の魔力』 笹田昌宏/著  
イカロス出版 上池袋図書館所蔵
- 『鉄道遺産をめぐる』 「旅と鉄道」編集部/著  
天夢人 上池袋図書館所蔵
- 『宮沢賢治全集 10』 宮沢賢治/著  
筑摩書房 (B ミ)



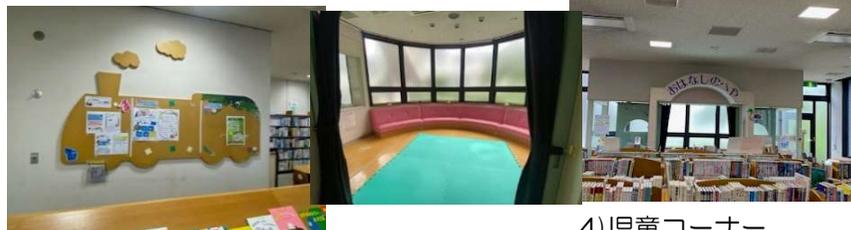
1)ステンドグラス



2)CDコーナー



3)CD試聴コーナー



4)児童コーナー



5)鉄道コーナー



## 閉館音楽

- ♪ この道
- ♪ シンコーペーテッド・クロック
- ♪ ソング・オブ・ライフ
- ♪ 僕の叔父さん
- ♪ スウィングン・バッハ